

## ぼくにもできる地球温暖化防止

永田 健一

ぼくは、地球温暖化防止という言葉を書いても、なんのことだかわかりませんでした。言葉もしらなかつたから、ぼくには、かんけいのないことだと思えました。でも、調べてみると、地球がどんどん暖かくなっていて、暖かくなると、大きな台風や大雨がきたり、北極や南極の氷がとけてしまうと、海にしずんでしまう場所があります。このまま地球のおんどがあがっていくと、やばいなと思えました。

ぼくにもできそうなことがあることも調べてみるとわかりました。それにもうやっていることもありました。かいものについたときに、レジぶくろをもらわずにマイバッグをもっていきます。つぎに、ゴミのぶんべつとりサイクルです。家でごみをすてるときにプラゴミ、紙のゴミ、ペットボトル、もやさなければならぬゴミなどをわけてすてています。お母さんのついで、エコステーションにゴミだしのついでについていくと、ペットボトルやダンボール、かんでんち、あきびんは、ちやい色のびん、とうめいな色のびん、色がついたびんにわけました。ほかにいろいろなものがありました。ふだんやっていることが、地球温暖化防止につながっているとはしらなかつたです。しようじきゴミのぶんべつはめんどくさいなどおもっていたけど、ごみをわけることは、とてもかんとんにできることで地球温暖化防止に、つながることなら、めんどくさいとおもわずにやりたいと思えました。地球温暖化防止と聞くと、むずかしいことばだとおもったけど、かんとんにじぶんでもできることがあると、わかつたからこれからは、ほかにもじぶんでできることがあるれば、やりたいと思えました。いもうとやおねえちゃんにもおしえてあげて、かぞくみんなで、地球温暖化防止にできることをやっ

ていきたいです。